

利用学習計画書

平成25年4月30日
担当 第6学年 千田 正義

1 ねらい

- ・歴史資料施設の活用や身近に残された遺跡に接することにより、旧石器時代や縄文時代の自然環境や人々の生活の様子を知る。
- ・石器や土器などを作る体験活動を通して、太古の人間の生活の知恵を体感し、歴史学習への興味関心を高める。

2 評価

- ・旧石器時代の人々の暮らしに関心をもち、進んで見学したり、体験活動に取り組むことができたか。
- ・展示物の見学や体験活動を通して、縄文時代の人々の生活やその工夫に関心をもって取り組むことができたか。

3 学習活動について

(1) 教科名及び単元名

社会科 単元名「日本の歴史」

(2) 身に付けさせたい態度・力

- ・自分たちの住んでいる地域にも遺跡が存在していたことを知り、地域の歴史に関心をもち、進んで学習しようという態度。
- ・旧石器時代や縄文時代の人々の暮らしについて理解する力。
- ・展示物などの資料、体験活動から学習したことをまとめる力。

4 事前指導

- ・地底の森ミュージアム、縄文の森広場の概要を説明する。
- ・米作り以前の時代についての知識を確認する。
- ・当日の学習の流れについて確認する。

5 当日の指導（活動）内容

(1) 地底の森ミュージアム

- 1) 見学学習 学級ごとに職員の説明を聞きながら学習ノートにまとめる。
- 2) 体験学習 石器作り

(2) 縄文の森広場

- 1) 体験学習 勾玉作り
- 2) 見学学習 学級ごとに職員の説明を聞き、探検シートを用いて自主学習をする。

6 当日の交通手段 貸し切りバス

7 事後指導

見学や体験学習をしてわかったことを新聞等にまとめる。

利用学習報告書

平成26年1月8日

担当 第6学年 千田 正義

1 事後指導について

(1) 実施日

平成25年5月16日(木) 5校時

17日(金) 5校時

28日(火) 1校時

(2) 主な内容

- ・地底の森ミュージアム、縄文の森広場の見学で学習ノートに書いたことをグループごとに確かめ合い、新聞にまとめる内容を整理した。
- ・石器作り、土器作り・土偶作り・石アクセサリー作りの体験活動についての感想を整理し各自が1枚新聞にまとめた。
(完成後、廊下に掲示し発表とした。)

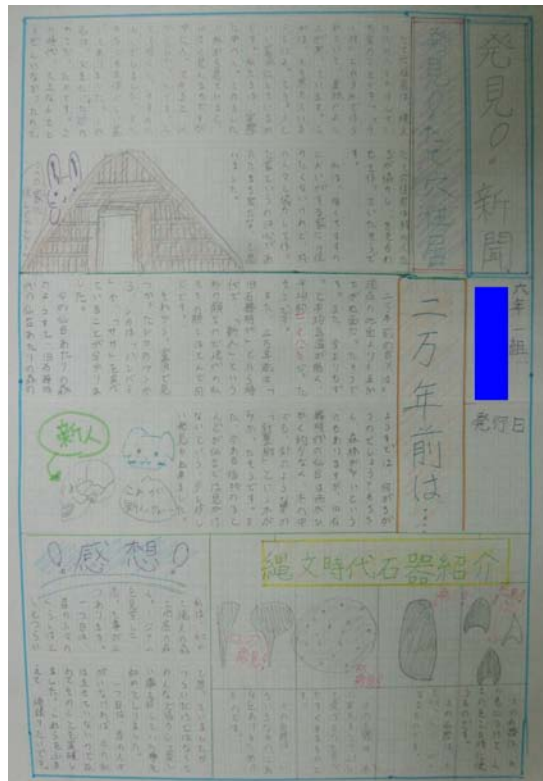
2 送付する資料

児童が製作した1枚新聞(B4縦) 8人分

①



③



②



④



[illegible][illegible][illegible]

This is a hand-drawn manuscript page, likely a page from a notebook or a draft for a book. The page is divided into several sections by horizontal lines. The text is written in Japanese, with some words highlighted in blue boxes. There are several illustrations: a small house with a red roof, a blue box with the text '地底の森 ミラジウム', a blue box with the text '縄文・地底新聞', a blue box with the text '勾玉 ぶい', a drawing of a flower, a drawing of a red object, and a drawing of a red object with a blue dot. The page is filled with handwritten text, some of which is crossed out or corrected.